



# 図書館だより

推薦図書や新着本を紹介します。 ☎ 32・0562

開館時間 → 午前9時30分～午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時まで）

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    | 1  | 2  |
| 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| 31 |    |    |    |    |    |    |

7月のカレンダー  
…休館日



## 司書のおすすめブックス。



◆プロフェッショナルの言葉  
NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」制作班

各界で第一線を張るプロたちの核心とは。

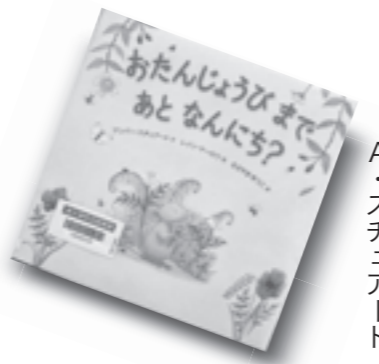
NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」2006年1月～08年3月に登場した81人すべてのプロフェッショナルについて、特に印象に残った言葉を厳選し一冊にまとめる。



◆怪盗ブラックの宝物  
那須正幹 作

50年前に世間をさわがせた大泥棒、ミスター・ブラック。

その財宝が、ぼくたちの町のどこかに眠っているかも！ まぶしい海、光る風の中で、少年たちの熱い、忘れられない夏休みが始まる。



おたんじょうびまであとなんにち？  
A・スチュアート 作

こねずみのチュウくんは、このごろわくわくしています。

だって、もうすぐ誕生日がくるのですから…。

お誕生日が待ち遠しくてたまらない小さな子の気持ちをあたたかく描いた、英国生まれの絵本。

- 02 新着児童書
- ◆おばけやさん1 おかべりか 作
  - ◆無花果の森 小池真理子 著
  - ◆月は怒らない 垣根涼介 著
  - ◆絆回廊（新宿鮫10） 大沢在昌 著
  - ◆怪物 福田和代 著
  - ◆半島へ 稲葉真弓 著
  - ◆乾ルカ 著
  - ◆よつこそ
  - ◆てふてふ荘へ 長野まゆみ 著
  - ◆逆事 河野多恵子 著
  - ◆デカルコマニア 長野まゆみ 著
  - ◆エコーズ 池上永一 著
  - ◆早瀬乱 著
  - ◆一生、女の子 田辺聖子 著
  - ◆真夏の方程式 東野圭吾 著
  - ◆唄う都は雨のち晴れ 池上永一 著

- ◆コウモリのルーファスくん トミ・ウングラー 作
- ◆イタチとみずがみさま 内田麟太郎 作
- ◆しろもくろも、みんなおいで あべ弘士 作
- ◆世界の終わりと妖精の馬 上・下 K・トンブソン 作
- ◆あさです！ くすのきしげのり 作
- ◆山猫たんけん隊 松岡達英 作
- ◆旅のはじまりは タイムスリップ 三田村信行 作
- ◆しげちゃん 室井滋 作
- ◆おとうさんの手 まはら三桃 作
- ◆ヘリオット先生と ドノバンおばさん J・ヘリオット 作
- ◆土手を かけおりよう！ あんずゆき 作

- 03 録音図書CD
- ◆明神の次郎吉 鬼平犯科帳シリーズ 池波正太郎 著
  - ◆土蜘蛛の金五郎 鬼平犯科帳シリーズ 池波正太郎 著
- 04 映画会
- 日時 8月6日（出） 午後2時～2時45分
  - 「ふたつの胡桃」野坂昭如戦争童話集
- 05 おはなし会
- 日時 7月16日（出） 午後3時～（約30分）
  - ※毎月第三土曜日の午後3時
- 06 あかちゃんのためのおはなし会
- 日時 8月4日（休） 午前11時～（約60分）
  - ※毎月第一木曜日の午前11時

！としょかんからのお知らせあれこれ。

# コラム・にんげん

人間が人間らしく生きるために、すべての人が  
等しく持っている権利、人権について考えるコラムです。

考えよう・人権

## ひと



## 人権の世紀

作家 家の司馬遼太郎さんが小学6年生に書いた『二十一世紀に生きる君たちへ』の中で、「私は、人という文字を見るとき、しばしば感動する。ななめの画がたがい支え合って、構成されているのである。そのことでも分かるように、人間は、社会をつくって生きている。社会とは、支え合う仕組みということである」と述べています。

さて、東日本大震災に見舞われた日本に、140を超える国や地域が、数え切れないほどの温かいメッセージや義援金を送ってくれました。被害状況は、初期の段階から甚大で、その絶望的な状況に置かれながらも被災地の住民がみせた思いやりと秩序ある振る舞いが、世界中の人々の心を動かし、日本への敬意と復興への期待へとつながりました。国内でも、被災地の痛みを少しでも分かち合おうと、瞬く間に支援の輪が広がり、多くの人たちが、ボランティアやチャリティーに参加し、社会全体が「ひとつになろう」という気持ちで頑張ろうというメッセージを伝えました。本市でもさまざまな支援活動が広がりました。まさに人々が支え合う社会です。しかし、今回のような未曾有の災害からの復興には、さまざまな困難が伴います。原発事故を収束させることもそのひとつですが、その間、人権侵害や風評被害が起こらないように、一人ひとりが関心を持ち続けることが大切です。

21世紀は人権の世紀と言われ、一人ひとりの人権意識が問われています。人権とは、生まれながらにして持っている人間としての権利ですが、わたしたちの意識の中には、思い込みや固定観念があり、一面的に決めつけたイメージがありがちです。何ら正しい情報や合理的な理由に基づかないで、排除したり避けたりする偏見や差別を引き起こすことがあります。

思いやりや支え合うことの大切さを再認識したわたしたちに、21世紀が人権を身近な問題として関心を持ち続けることを求めています。

参考資料「二十一世紀に生きる君たちへ」司馬遼太郎（『十六の話』中央公論新社より）。人権情報ガイド「ゆまにてなにな」(大阪府) <http://www.pref.osaka.jp/jinken/>

## 共同

男女がともに自分らしく生きられるように…

## 映画

## アサーションという表現方法「あなたも大切、わたしも大切」



あなたは仕事の後、家族と外食の予定を立てていましたが、急に残業を命じられました。さあ、どうしますか。

①しつこく残業をこなすが家族にすまないと思い、自分もがっかりし、断らなかったことを後悔し気持ちが落ち込む。上司もいやいや仕事をしているあなたの態度に良い気持ちを持たない。②「急な残業は、都合があるので応じられない」と不愉快な表情で答え職場を出るが、上司への罪悪感がつり、家族との楽しいはずの外食も味気ないものになる。③「今日は予定があるので、大変申し訳ありませんが、残業はできません。次から事前にご連絡いただければ大丈夫です」といねいに、しかしはっきりと応じられないことを上司に告げる。あなたは自分の意志をはっきり表せたことに満足し、上司も自分

の無理な要求に気づく。

①から③で自分の気持ちをきちんと伝えているのはどれでしょうか。そしてあなたはどのタイプですか。

アサーションというコミュニケーション方法があります。「積極的な自己表現」といい、「相手の気持ちを大切にし、自分はどうか」を素直に伝える表現方法です。①は非主張的、②は攻撃的であり、③がこれにあたります。アサーションには歩み寄りの精神があり、お互いを大切に合ったという暖かさが残り、納得のいく満足感が得られる相互尊重のコミュニケーションです。

常に自分の内なる声に耳を傾けること、相手を思いやる心をもつことが、「後味の良いコミュニケーション」を生み出す基本になるのです。



### 秋の収穫を目指して

「わくわく農業体験」を実施  
6月4日板原町の畑で、「わくわく農業体験」を開催しました。当日は60家族、総勢180人の親子が参加し、梅雨に入って雨が続き、ぬかるんだ畑の区画に、最初は長靴姿で開始しましたが、最後はおとなも子どもも裸足で泥まみれになりながら、みんなで楽しくさつま芋の苗を植えました。

秋に予定している収穫祭には1家族に20～30個のさつま芋が収穫できるよう、今後は、親子で草抜きや水やりに取り組みます。



港湾美化清掃



ごみゼロ大作戦



ボランティア清掃

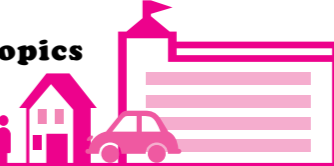
### 自分たちの手で街をきれいに！

泉大津市ごみゼロ大作戦などを実施  
5月30日の「ごみゼロ」の日にちなみ、6月5日に市内一斉清掃「泉大津市ごみゼロ大作戦」を実施しました。当日は、自治会など50団体、約4,000人が参加し、日ごろみんなが使用する道路や公園などを一斉に掃除しました。また、同時に臨海地区では、「港湾美化清掃」も合わせて行われました。

さらに、6月7日には北助松商店街周辺を、地元自治会・周辺の学校・店主らが参加し、地域コミュニティの構築と美しいまちづくりの一端としてボランティア清掃を実施しました。

# まちの話題

Izumitsu Town Topics



say  
cheese!!

泉大津で起こったさまざまなできごとやイベントを、写真とともにお届けします。



### 弥生時代に想いをはせながら

池上曽根史跡公園内の田んぼで田植え体験

池上曽根弥生学習館の「こだい米クラブ」では、子どもたちが史跡公園内にある田んぼで、一年を通して稲作を学習します。

6月19日には、田植えを体験しました。子どもたちは、学習館で用意された弥生時代の衣服「貫頭衣」に身を包み、ぬかるんだ田んぼに悪戦苦闘しながら、一株一株でいねいに苗を植えていました。



二田村境石造物群

皆さん知ってましたか？

### 本市にある体操クラブに 女子体操競技全日本代表選手が在籍

6月11～12日に開催された「第50回NHK杯兼第43回世界体操競技選手権大会日本代表決定競技会」で、本市昭和町にある「羽衣体操クラブ」所属の、新竹優子選手が個人総合3位に、山岸舞選手は同8位、今西裕万選手は同11位の成績を修め、新竹・山岸両選手は10月に東京で開催される「世界体操競技選手権大会」の代表に決定しました。

3選手は、先日本市と連携協定を結んだ「羽衣国際大学」に在籍しながら、「羽衣体操クラブ」で日々厳しい練習に励んでいます。本市でも3選手を応援していきますので、ぜひ皆さんもいっしょに応援してください。(関連記事13ページ)



クラブで練習する選手たち

左から山岸選手、新竹選手、今西選手



ちびっ子もいっしょに練習中

### 歴史散策「弥生以後の池上曽根を歩く」を開催 田町から曽根町にかけて散策

弥生時代の遺跡として知られる池上曽根遺跡ですが、弥生時代以降はどのように歴史が展開されたのかを探る歴史散策です。

6月11日の第1回目は「二田物部氏にゆかりの地を歩く」と題し二田町から曽根町にかけて散策しました。雨の降るあいにくの天気でしたが、参加者は熱心に専門職員の解説に聞き入っていました。

なお、第3回目「中世武士ゆかりの地を歩く」が7月9日(土)に開催されます。



## 歴史的な町並みを巡る

「浜街道まつり」開催  
5月22日、歴史的な町並みが残る通称「浜街道」で、「第10回浜街道まつり」が開催されました。当日は、雨が降るあいにくの天候でしたが、訪れた人たちは趣のある浜街道の町並みを楽しんでいました。



浜幼稚園児たちの演技

## 住みたい・住み続けたい泉大津

「泉大津フェスタ2011」を開催  
きららタウン周辺で、5月22日に泉大津フェスタが開催されました。残念ながら、当日は雨が降る悪天候でしたが、毎年恒例のイベントには多くの市民が訪れました。  
雨のため一部の催しものは中止となりましたが、多くの模擬店が並び会場を訪れた人たちは、思い思いに店を回っていました。



## 笑顔の連鎖、みんなにっこり

穴師幼稚園児たちがグループホームを訪問  
穴師幼稚園の年長児たちが6月10日に、池浦町のグループホーム「愛のいえ、池浦」（老人ホーム）を訪問しました。  
これは、3年前から始まり、今回で3回目。当日は、園児たちが、歌を披露したり、いっしょに手遊びをしたりしました。また、今年の節電対策に、自分たちが絵を描いたオリジナルうちわもプレゼントしました。園児たちも、ホームの人たちも笑顔で過ごせたひとときでした。



## 赤ちゃんと絵本の初めての出会い

4か月健診でブックスタート事業  
図書館は、保健センターで行われる4か月健診時に、赤ちゃんとその保護者を対象にブックスタート事業とし、絵本の読み聞かせを行っています。  
ブックスタート事業は、子育て支援事業の一環で、赤ちゃんと保護者が、絵本を介して心ふれあうひとときをもつきっかけづくりを目的としています。ボランティアが、親子一組ずつにいてねいに読み聞かせをするとともに、「赤ちゃんの駅」や子育てに関する情報も提供しています。



## 子どもたちの思いよ被災地へ届け

旭小で「6年生震災バザー」開催  
6月7日、旭小学校の6年生児童たちが「震災バザー」を行いました。当日開場となった同小体育館には、文房具から靴下などさまざまな商品が並べられました。また、バザーのほかにも、震災被害・地震・津波などについての調べ学習の展示もあり、多くの保護者たちが訪れていました。  
なお、バザーの売り上げと募金については、被災地へ送る予定です。



ひったくり防止カバー取り付け



ひったくり撲滅街頭キャンペーン



泉大津安全大会

## 市民に防犯意識の向上を呼びかけ

春の地域安全運動  
5月23日、泉大津駅で、泉大津警察署、防犯協議会、防犯委員、市が参加してひったくり撲滅街頭キャンペーンを実施し、25日には市役所玄関前で、泉大津市防犯委員会の女性防犯委員が中心となり、泉大津警察署および市が、ひったくり防止カバーの無料取り付けを行い、訪れた市民に防犯の大切さを呼びかけました。  
また28日に市民会館小ホールで開催された泉大津安全大会では、約150人の防犯委員が出席し、府警生活安全指導班による防犯教室が開催され防犯意識の高揚を図りました。



ニット製表彰状

奈良県大和郡山市の全国金魚すくい選手権大会

## 泉州から全国大会を目指し熱い戦い！

「全国金魚すくい選手権大会泉州予選大会」開催  
奈良県大和郡山市で開催される「全国金魚すくい選手権大会」認定の「泉州予選大会」が、5月22日に本市で初めて開催されました。  
会場となったきららセンタービル2階きららホールでは、小中学生部門と一般部門で競われ、予選、準決勝、決勝と熱戦が繰りひろげられました。なお、各部門の上位2人は全国大会へのシード権を得て、8月



泉州予選大会

21日に大和郡山市で日本一の金魚すくい名人を目指します。  
また、表彰式では、入賞者に特産品であるニットで編まれた珍しい表彰状が授与されました。受賞者は、水色とうす緑色をベースに色鮮やかにデザインされて織られたメイドイン泉大津の「ニット製表彰状」を受け取り喜んでいました。